

交付運用報告書 2023年10月期（2022年11月1日～2023年10月31日）

**i シェアーズ 米国物価連動国債 ETF**  
**iShares TIPS Bond ETF**

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託  
米国デラウェア籍法定トラスト

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、i シェアーズ 米国物価連動国債 ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2023年10月期の決算を行いました。ファンドの投資目的は、物価連動の米国国債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年10月末日	
1口当たり純資産価格（基準価格）	102.71米ドル
純資産総額	19,720,412,327米ドル
2023年10月期（2022年11月1日～2023年10月31日）	
トータルリターン	-0.87%
1口当たり分配金額	2.708249米ドル

（注）1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、取次証券会社までお問い合わせください。

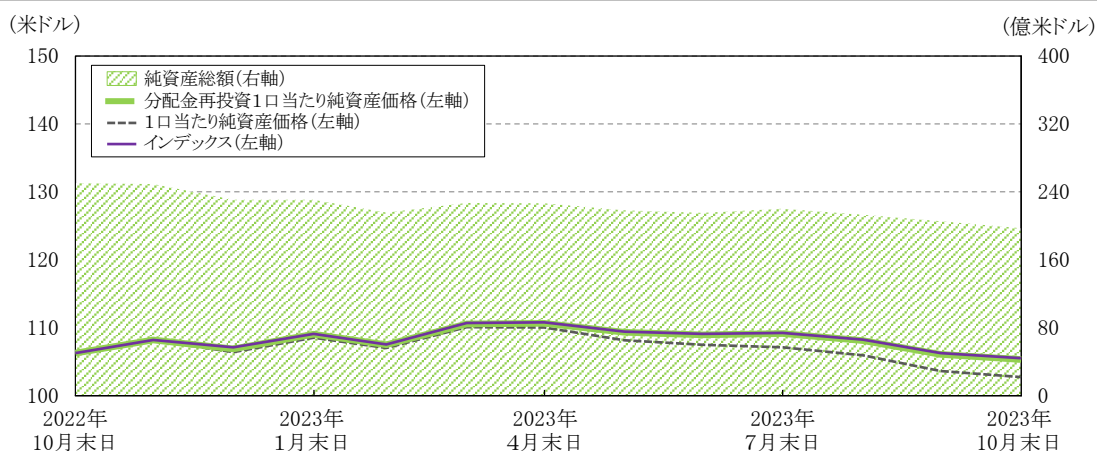
<その他記載事項>

交付運用報告書および運用報告書（全体版）はブラックロック・ジャパン株式会社のウェブサイト（<https://www.blackrock.com/jp/>）の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

トラスト：  
i シェアーズ・トラスト

## 《運用経過》

### 当期の1口当たり純資産価格等の推移について



2022年10月末日現在の1口当たり純資産価格：106.26米ドル

2023年10月末日現在の1口当たり純資産価格：102.71米ドル

(1口当たり分配金額：2.708249米ドル)

トータルリターン：-0.87%

- (注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注3) ファンドのインデックスは、2023年2月1日より、ブルームバーグ・米国TIPSインデックス(シリーズL)からICE米国国債インフレ連動債指数に変更されました。上記のグラフのインデックスのパフォーマンスは、2023年1月31日までは、ブルームバーグ・米国TIPSインデックス(シリーズL)を反映しており、2023年2月1日以降は、ICE米国国債インフレ連動債指数を反映しています。本書において「インデックス」とは、2023年1月31日までの期間につきブルームバーグ・米国TIPSインデックス(シリーズL)を、2023年2月1日以降の期間につきICE米国国債インフレ連動債指数を指します。
- (注4) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2022年10月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注5) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮していません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

## 1 口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

### 米国債券市場概観

ブルームバーグ 米国総合債券指数で測定される米国債券市場は、2023 年 10 月 31 日に終了した年度（以下「当年度」）において、0.36%のリターンを記録しました。インカムゲインによる恩恵が価格下落の影響を上回り、わずかな上昇につながりました。

債券の低迷には、いくつかの要因が絡んでいます。当年度初めには、市場は、ウクライナ戦争勃発後の数ヶ月間にピークに達したインフレ率が低下したことから下支えを受けていました。価格圧力が緩和されたことで、米国連邦準備制度（以下、「Fed」）による長期間にわたる利上げが終わりに近づいているのではないかと期待が高まり、2022 年後半の市場の好パフォーマンスにつながりました。しかし 2023 年に入ると、持続的なインフレと Fed 高官による声明により、利上げは確かに緩やかになっているものの、金利水準は「より高く、より長く」とどまる可能性が高いことが明らかにされました。経済成長の持続的な力強さ、また住宅価格の上昇や堅調な雇用も相まって、Fed はインフレの再燃を防ぐために高金利を維持する必要があるという見解を強めました。Fed は結局、12 ヶ月間で 6 回の金利引き上げを行い、ベンチマークとなるフェド・ファンド金利を 3.0%から 3.25%の範囲から 5.25%から 5.50%の範囲に引き上げました。しかしより重要なのは、市場は中央銀行による利下げ転換への期待を押し下げ続けたという事実です。期首の先物市場は、利下げ転換が 2023 年下半期には行われることを示唆していました。それとは対照的に、利下げ転換のタイミングは 10 月末までに、2024 年後半にシフトしました。

こうした環境の中、米国国債の利回りは、満期区分に関係なく（価格下落により）上昇しました。2 年物債券の利回りは、12 ヶ月間を通じて 4.48%から 5.09%に上昇し、10 年物債券は 4.05%から 4.93%に上昇しました。いずれの債券も 2023 年 10 月末には 2007 年以来の高水準に達しています。国債市場は、金利上昇の影響に加え、国債発行増加の必要性が市場の需給バランスを悪化させるとの懸念から、さらに圧迫されました。

米国国債のボラティリティと、モーゲージの期限前返済の減少やバランスシート上の債券保有残高を減らそうとする Fed の取り組みにより、モーゲージ証券はマイナスのリターンで終わりました。一方で、証券化カテゴリーの他の主要セグメントである資産担保証券と商業用不動産担保証券は上昇しました。投資適格社債もプラスのリターンとなり、米国国債を上回りました。この資産クラスは、インカムゲインからの貢献が大きく、また国債に対するイールドスプレッドが縮小したことが寄与しました。

満期 10 年以上の債券は、金利変動への感応度が最も高く、市場全体を下回りました。一方で、満期が 3 年から 7 年の債券がアウトパフォーマンスとなりました。パフォーマンスが信用動向よりも金利動向によって左右される高格付けの投資適格債は、総じて低格付け債を下回りました。

## 1. 運用の経過

i シェアーズ 米国物価連動国債 ETF

2023年10月31日現在のファンド概要

### 投資目的

i シェアーズ 米国物価連動国債 ETF（以下「ファンド」）は、ICE米国国債インフレ連動債指数（以下「インデックス」）に代表される、米国財務省の物価連動国債からなるインデックスの投資成果に追随することを目指しています。ファンドは、全体としてインデックスと同様の投資特性を有する、インデックスに含まれる代表的な構成銘柄を組入れています。代表的な構成銘柄の組入れにより、ファンドはインデックスに含まれる銘柄のすべてを保有する場合もあれば、しない場合もあります。

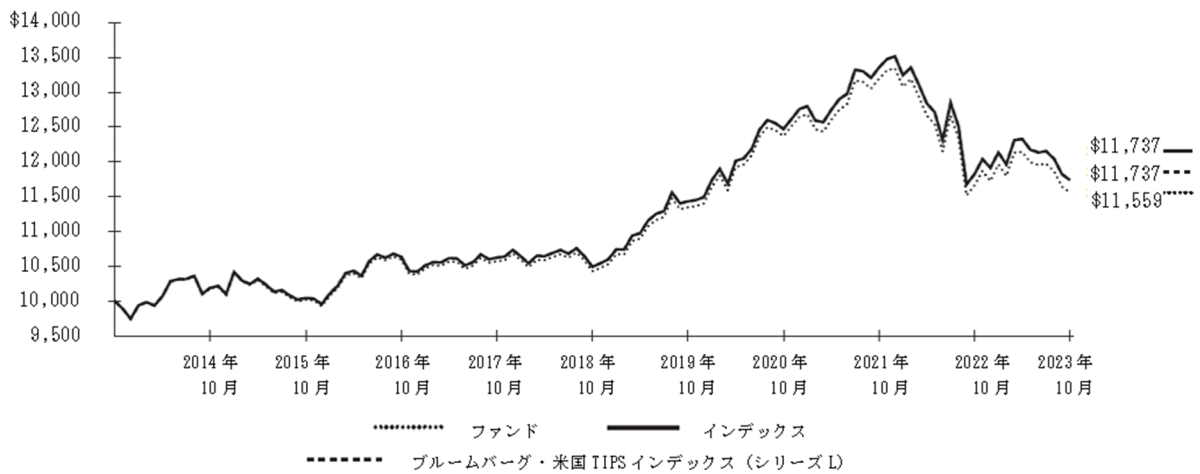
### パフォーマンス

	年間平均トータルリターン			累積トータルリターン		
	1年	5年	10年	1年	5年	10年
ファンドのNAV	(0.87)%	2.08%	1.46%	(0.87)%	10.85%	15.59%
ファンドの市場	(0.91)%	2.09%	1.47%	(0.91)%	10.92%	15.74%
インデックス <sup>(a)</sup>	(0.72)%	2.27%	1.61%	(0.72)%	11.87%	17.37%
ブルームバーグ・米国 TIPSインデックス（シリ ーズL）	(0.72)%	2.27%	1.61%	(0.72)%	11.87%	17.37%
ICE米国国債インフレ連 動債指数 <sup>(b)</sup>	(0.64)%	2.27%	N/A	(0.64)%	11.89%	N/A

<sup>(a)</sup> 2023年1月31日までのインデックスのパフォーマンスは、ブルームバーグ・米国 TIPS インデックス（シリーズL）のパフォーマンスを反映しています。2023年2月1日からのインデックスのパフォーマンスは、ICE米国国債インフレ連動債指数のパフォーマンスを反映しており、これは2023年2月1日付でファンドの基礎となるインデックスとしてブルームバーグ・米国 TIPS インデックス（シリーズL）から置き替えられたものです。

<sup>(b)</sup> ICE米国国債インフレ連動債指数の開始日は2016年6月30日でした。2016年6月30日から2023年10月31日までの期間における本インデックスの累積トータルリターンは、11.02%でした。

10,000 米ドル投資の純資産価額の推移



過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。運用パフォーマンスの結果は、ファンドの分配時あるいはファンド受益証券の償還時または売却時に受益証券保有者が支払う可能性のある税金の控除を反映していません。

費用例

実績値			5%の仮説リターンに基づく仮定値			
口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 <sup>(a)</sup>	口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 <sup>(a)</sup>	費用比率 (年率)
2023年5月1日	2023年10月31日		2023年5月1日	2023年10月31日		
1,000.00 米ドル	951.90 米ドル	0.93 米ドル	1,000.00 米ドル	1,024.20 米ドル	0.97 米ドル	0.19%

<sup>(a)</sup> 費用は、当期間中の口座の平均価額に、年率換算された費用比率および 184/365 (表示されている半年の期間を反映) を乗じたものに相当します。売買委託手数料および金融仲介業者へのその他の手数料など、上記の表や例には反映されないその他の手数料が支払われる場合があります。

## ポートフォリオ管理の説明

インデックスに示されるように、TIPS市場は全体としてわずかにマイナスのリターンで当年度を終えました。

経済成長の持続的な力強さと、インフレ率も目標の2%を上回って推移していることから、米国連邦準備制度（以下、「Fed」）は、ベンチマークとなる翌日物貸出金利を12ヵ月間で6回引き上げ、フェデラル・ファンド金利誘導目標を3.0%から3.25%の範囲から5.25%から5.50%の範囲に引き上げました。また、Fedは、金利水準は「より高く、より長く」とどまる可能性が高いことを示唆しました。米国政府の債務負担が膨らみ、国債増発の必要性が高まっていることも債券市場のセンチメントを圧迫しました。こうした中、米国政府債利回りは、当年度において満期区分に関係なく上昇しました。例として、2年物国債の利回りは4.48%から5.09%に、10年物国債の利回りは4.05%から4.93%に上昇しました。

TIPSのパフォーマンスは、金利の方向性とインフレ予想の変化の両方による影響を受けます。米国国債の利回りの上昇は、金利感応度の高い長期TIPSを中心に、TIPSのパフォーマンスを絶対的に圧迫しました。また、現在から5年先までの期待インフレ率（年率）を計測したTIPSの5年間の「ブレイク・イーブン」インフレ率は、当年度中にわずかに下落し、12ヵ月前の2.67%から当年度末には2.40%となり、10年間の「ブレイク・イーブン」インフレ率は前年度末の2.52%から2.42%になりました（出典：セントルイス連邦準備銀行）。インデックス内では、満期が短期および中期の国債がパフォーマンスを牽引しましたが、10年超のTIPSのリターンは大幅にマイナスとなりました。

## ポートフォリオ情報

### 満期別内訳

満期	総投資比率 <sup>(a)</sup>
0-1年	1.3%
1-5年	52.5
5-10年	33.1
15-20年	3.4
20-25年	5.8
25-30年	3.9

### 組入上位 5 銘柄

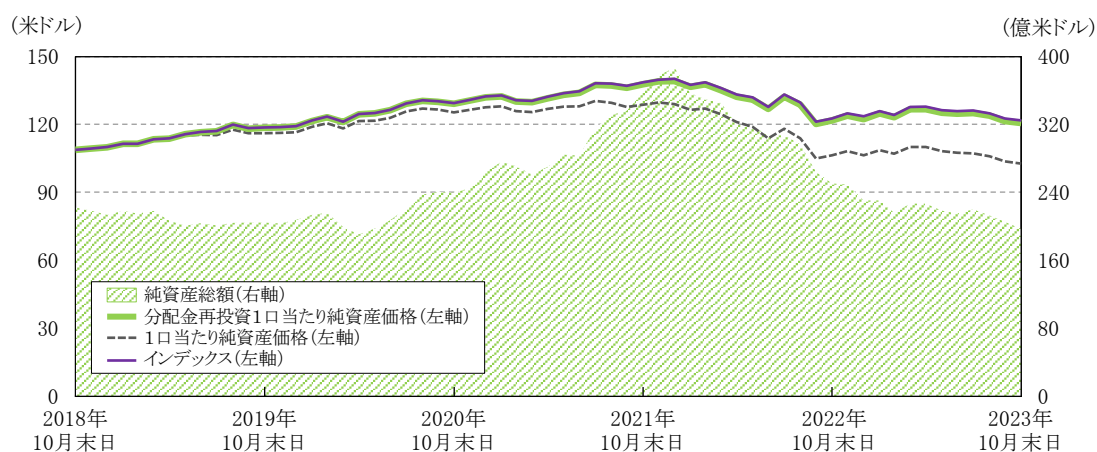
証券	総投資比率 <sup>(a)</sup>
U.S. Treasury Inflation-Indexed Bonds, 0.13%, 04/15/25	4.2%
U.S. Treasury Inflation-Indexed Bonds, 0.63%, 07/15/32	3.8
U.S. Treasury Inflation-Indexed Bonds, 0.63%, 01/15/26	3.8
U.S. Treasury Inflation-Indexed Bonds, 1.25%, 04/15/28	3.7
U.S. Treasury Inflation-Indexed Bonds, 1.63%, 10/15/27	3.7

(a) マネー・マーケット・ファンドを除く。

## 費用の明細

項目	項目の概要		
投資顧問報酬	投資顧問報酬	平均日次純資産総額	ファンドに提供する投資顧問サービスの対価
	0.2000%	1,210億米ドルまで	
	0.1900%	1,210億米ドル超、1,810億米ドル以下	
	0.1805%	1,810億米ドル超、2,310億米ドル以下	
	0.1715%	2,310億米ドル超、2,810億米ドル以下	
	0.1630%	2,810億米ドル超	
その他の費用	0%		該当事項はありません。

## 最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について



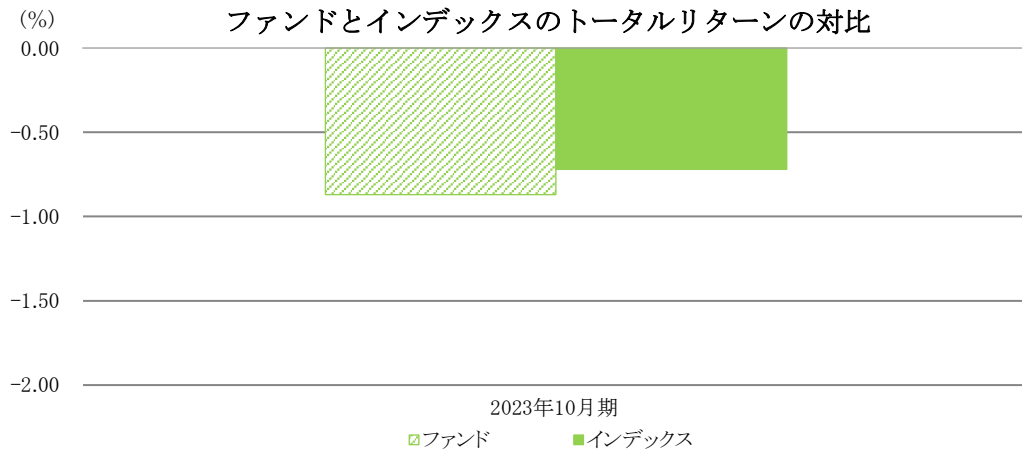
	2018年 10月末日	2019年 10月末日	2020年 10月末日	2021年 10月末日	2022年 10月末日	2023年 10月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	108.83	116.11	125.29	128.61	106.26	102.71
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	2.242556	1.250472	4.908521	8.022071	2.708249
ファンドのトータル リターン (%)	—	8.80	9.02	6.67	−11.62	−0.87
インデックスのトータル リターン (%)	—	8.96	9.09	7.07	−11.47	−0.72
純資産総額 (千米ドル)	22,223,190	20,436,063	23,956,337	35,868,635	24,981,866	19,720,412

(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2018年10月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注3) 上記のグラフのインデックスは、2023年1月31日までは、ブルームバーグ・米国TIPSインデックスシリーズLを反映しており、2023年2月1日以降は、ICE米国国債インフレ連動債指数を反映しています。

## ベンチマークとの差異について



## 分配金について

当期（2022年11月1日～2023年10月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。  
 なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注1)</sup> )	分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 <sup>(注2)</sup>
2022年11月1日	106.32	0 (0.00%)	0.09
2022年12月1日	109.22	0.130772 (0.12%)	3.04
2022年12月15日	108.10	0.349136 (0.32%)	-0.78
2023年2月1日	109.31	0 (0.00%)	1.22
2023年3月1日	106.64	0 (0.00%)	-2.67
2023年4月3日	110.24	0.127408 (0.12%)	3.73
2023年5月1日	108.65	0.569082 (0.52%)	-1.02
2023年6月1日	108.01	0.312580 (0.29%)	-0.33
2023年7月3日	106.88	0.503890 (0.47%)	-0.63
2023年8月1日	106.23	0.220586 (0.21%)	-0.43
2023年9月1日	105.10	0.323312 (0.31%)	-0.82
2023年10月2日	102.79	0.171483 (0.17%)	-2.13

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率 (\%)} = 100 \times a / b$$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3) 2022年11月1日の直前の分配落日（2022年10月3日）における1口当たり純資産価格は、106.22米ドルでした。

## 《今後の運用方針》

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

## 《お知らせ》

ファンドのインデックスは、2023年2月1日より、ブルームバーグ・米国TIPSインデックス（シリーズL）からICE米国国債インフレ連動債指数に変更されました。

《ファンドの概要》

ファンド形態	米ドル建て／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドの投資目的は、物価連動の米国国債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。
主要投資対象	ファンドは、少なくともその資産の80パーセント以上をインデックスを構成する有価証券に投資し、さらに少なくともその資産の90パーセント以上をファンドによるインデックスの連動に資するとBlackRock Fund Advisorsが考える米国財務省証券に、またその資産の10パーセント以下をファンドによるインデックスの連動に資するとBlackRock Fund Advisorsが考える先物、オプションおよびスワップ契約に投資します。
運用方法	ファンドは、一般に「TIPS」として知られる、物価と連動した米国財務省の公的債務の実績を測定するインデックスに連動する運用成果を追求します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの投資目的を達成するために、インデクシング・アプローチを使用します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの運用につき代表サンプリング指数戦略を使用します。代表サンプリングとは、全体としてインデックスの代表サンプルと類似する投資プロファイルを有する証券の代表サンプルに投資する指数戦略をいいます。
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 投資を集中させること（すなわち、全資産の25パーセント以上、特定の産業または産業グループの有価証券に投資すること。）。但し、ファンドは、インデックスが特定の産業または産業グループに有価証券を集中させる程度とほぼ同程度に投資を集中させます。かかる制限の目的上、米国政府（その支分機関および系列機関を含みます。）の証券、米国政府証券の担保付き買戻契約および州または地方政府もしくはその政府当局の証券は、いかなる産業の構成員から発行されたものとして解釈されません。</li> <li>2. 借入を行うこと。但し、（i）ファンドは、これを行わなければ時機を失した証券の処分を要することとなる買戻請求に対応することを含む臨時または緊急目的（レバレッジ目的を除きます。）で銀行から借入を行うことができ、（ii）ファンドは、その投資方針と合致している限り、買戻契約、逆買戻契約、先送り取引、およびこれらと類似する他の投資戦略および技術を履行することができます。（i）および（ii）の取引を行う場合に限り、当該取引からファンドは総資産（借入額を含みます。）の33%パーセント以上を取得してはならないという制限が課されます。当該金額を超過する借入は、適用法に基づき縮減されます。</li> <li>3. 優先的受益証券を発行すること。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。</li> <li>4. 貸付を行うこと。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。</li> <li>5. 不動産、不動産抵当、商品、商品契約を売買すること。但し、かかる制限は、ファンドが先物契約および先物契約のオプションを取引すること（ファンドの投資目的および投資方針と合致している限り、為替オプションを含みます。）を禁止するものではありません。</li> <li>6. 他の者が発行した証券の引受業務に携わること。但し、ポートフォリオ証券の処分により、ファンドが、厳密には、米国1933年証券法における引受人とみなされる場合を除きます。</li> </ol>

分配方針	ファンドは通常、純投資収益からの分配金（もしあれば）を、少なくとも年に1回宣言し、支払います。証券の実現純収益（もしあれば）の分配は、通常年に一回宣言され、支払われますが、トラストは、ファンドに関してより頻繁に分配を行うことができます。トラストの登録投資会社としての地位を維持するため、または、分配されない収益または実現利益に所得税もしくは消費税が賦課されることを回避するために必要または望ましいとトラストがその合理的裁量により決定した場合、臨時分配金を宣言する権利を有します。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 《ファンドデータ》

### 組入資産の内容（2023年10月期末現在）

#### 組入上位資産

（注）組入上位銘柄および組入銘柄数は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。組入銘柄の詳細は、運用報告書（全体版）の「IV. 投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

#### 組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分

（注1）ファンドの組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため記載することができません。

（注2）ファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 純資産等

2023年10月期末	
1口当たり純資産価格	102.71米ドル
純資産総額	19,720,412,327米ドル
発行済口数	192,000,000口

2023年10月期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
78,700,000	121,800,000	192,000,000

本報告書に記載の「1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」は、ファンドのアンニュアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うこととなります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。